



# 最先端で輝く YNU の OG たち

はばたけ YNU ガール!

横浜国立大学校友会  
特別企画  
卒業生座談会 No.1



時間のある学生時代に勉強しておくことをおすすめします。  
江端貴子 (教育)  
㈱えばたかこ事務所 代表取締役

日経の社長時代は女性配慮を意識しました。  
杉田亮毅 (経済)  
YNU 校友会会長

若いうちに語学を身につけると後々役立ちます。  
中島恵理花 (教育)  
プリストル・マイヤーズ スクイブ㈱ 執行役員

校友会は全学部横断の応援団です。  
北澤尚徳 (経済)  
YNU 校友会 事務局長

YNU は自分を見つめるいい時間でした。  
日比野好恵 (教育)  
㈱ BBSTONE デザイン 心理学研究所 代表

夢はアナウンサー。目標に向けて勉強中です！  
小松玲葉 (教育人間科学部 2年)

大学で学んだ知識で無駄なものはありません。  
森川紀代 (経営)  
森川法律事務所 弁護士

女性が働く現実とは？ YNU での学生時代はどう過ごした？  
第一線で仕事と家庭を両立してきた OG たちが、後輩に贈る本音トーク。  
読めば今日から、学生生活に活かれます！

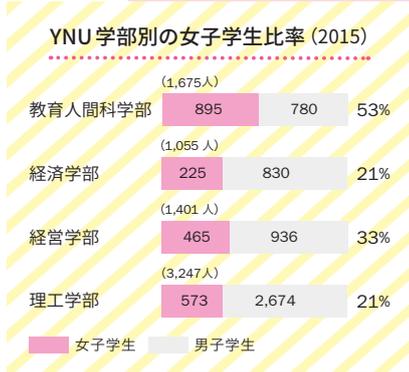
## あとに続く女性のために。道をひらいた YNU OG。

**北澤** 校友会は、社会と大学をつなぐ全学部横断の応援団です。全学部の学生、卒業生、先生、職員の皆さん全部を包含して大学をバックアップしています。学生さんにキャリア教育などを提供して、立派な学問と社会的基礎力を備え、社会で活躍していただく。大学のブランド力も上がります。今年4月から女性活躍推進法が施行されて、日本も女性活躍のベースができてきました。社会の第一線で活躍する女性の先輩の生のお話をお伺いし、現役の学生さんからは、先輩から

何を学んだらいいかをお聞きます。

「ご主人と相談して就職を決めて？」  
私の人生なのに(笑)

**杉田** 安倍総理が「一億総活躍の時代」を提唱して、女性の活躍を大きく意識しています。一般論でみると、女性には男性にないハンディキャップがあります。それをどう解決されたか。すでに活躍されている皆様から後輩に、サジェスションをいただけるでしょうか。





## 恐れずに、はばたけYNUガール！

**日比野** 結婚してカナダで4年暮らし、日本に帰って就職活動をした時に一番、女性である事のハンディキャップを感じましたね。子どもが小さかったのと夫がいるという理由で、人事の方から「ご主人と相談してから就職を決めてください」と言われショックを受けました。私の人生なのに、と(笑)。日本の企業は皆そうで、唯一採用して下さったのが外資系でした。男女全く関係なかったと同時に、逆に女性だから許されるものもなく、厳しい環境でした。

**江端** 私は卒業してすぐ富士通の技術職となりました。男女雇用機会均等法の前での入社で、女性は男性から昇格試験では2年、エリートコースからは3年遅れるという暗黙のルールがありました。また、企業派遣でビジネススクールに行きたいと言ったら「65歳まで勤めることができますか」と聞かれて断念し、私費で行きました。アメリカで駐在勤務する話もありましたが「行ける男性はいないか」という話になり、当時はまだ格差というか、ギャップを感じました。

**中島** 大学院で修士を終えてから日本で仕事をした後、留学のチャンスに恵まれてアメリカに行きました。帰国して採用してくれたのは外資系でした。MBAを修得して30歳を過ぎていましたので、

日本の企業では面接官が「どうして結婚しないのですか」とおっしゃって、なかなか門戸を開いて頂けなかった記憶があります。

**森川** 大学卒業後にシステムを開発する会社に8年いました。技術職なので男女差別は特に感じませんでした。昇進差別に直面する前に弁護士に転職しました。法律の世界に入ってから「女性だから」という反応を受けた事はありませんが、自ら諦めた道はありました。司法試験に受かると裁判官と検察官にもなれるのですが、2、3年で全国各地を転勤しなければなりません。検察官になりたい気持ちもありましたが、30代になり結婚等の予定があるなか、それは無理だと諦めました。

理解あるパートナーを見つけ、育てる教育が大事です(笑)

**杉田** 仕事と家庭の両立を心配する後輩女性のために、どのように解決されてきたかお話しください。

**中島** 夫は留学と海外駐在の経験があり、女性が仕事をするのに理解があります。家事も私より料理が上手かったり(笑)。理解のある旦那様を見つける事は、戦略としてあるかなと(笑)。

**森川** 経営者の理解も不可欠ではないかと思います。優秀な人材には柔軟な対応をして、仕事を続けてもらったほうが会社の利益になるという事を、経営者に理解していただきたい。

**中島** トップが理解を示しリードして下さると、下にどんどん伝播していくのを実感しています。

**森川** 私どもの時代は「結婚したら家庭に入ってくれるよね？」というタイプの男性は相当数いましたし、今でも一定数いると思いますが、今はむしろ「自分の稼ぎだけでは不安だから働いてくれ」というような話を聞きます。

**日比野** 夫は大学で教えているので男女平等という意識はあるのですが、結婚した時は全く何もできなかった。ですからやはり教育が大事なな、と。最初が肝心だと思います(笑)。

**江端** 女性の活躍について、女性の営業職ばかりの前でお話した時「そういうパートナーは見つけるのですか？育てるのですか？」(笑)

**森川** 見つけて、かつ育てる(笑)。

**江端** うちの割合に自立していて「妻とは、母親とはこうあるべきだ」というような価値観を押しつけてくるタイプではなかったので、楽でした。

**森川** 「妻とはこうあるべきだ」という

一生懸命仕事をする時期と、抑える時期と。人生にはライフステージがあります。



**江端貴子**  
㈩えばたたかこ事務所 代表取締役  
教育学部化学科卒。マサチューセッツ工科大修士。マッキンゼー、アステラス製薬(株)社外取締役、東京大学広報室特任准教授を経て、2009～12年衆議院議員。

始めたら意外と仕事面白かった。それで働き続けている方も多いのでは。



**中島恵理花**  
ブリストル・マイヤーズ スクイブ(株) 執行役員  
教育学部、大学院卒。ニューヨーク大学MBA(経営学修士)、ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)広報部長等、企業広報の専門家。

企業の内外で女性が働く環境づくり。日本の課題ですね。



**杉田亮毅**  
横浜国立大学校友会 会長  
公益社団法人日本経済研究センター 特別顧問  
㈩日本経済新聞社 顧問

経済学部卒。日本経済新聞社に入社。同社の代表取締役社長、会長などを歴任。

先輩の活躍の姿を見て在学生の皆さん、是非頑張ってください！



**北澤尚徳**  
横浜国立大学校友会 事務局長  
経済学部卒。三菱レーヨンを経て花王(株)東京地区統括部長、神奈川統括。富丘会事務局長を経て校友会事務局局長。

バリバリ働く輝く女性になりたいです。

苦手な統計学。人生に関係ないと宣言したのに、心理統計学の会社を起業しました。

社会に入る前と後と。仕事への考え方は年齢を重ねるとともに変わり得るものです。



**小松玲葉**  
教育人間科学部2年

広島県出身。女子バレーボール部所属。  
横浜国立大学・フェリス女学院大学放送研究会所属。アナウンサーを志望。



**日比野好恵**  
(株)BBSTONE デザイン心理学研究所  
代表取締役社長

教育学部卒。外資系企業を経て起業。デザイン心理学に基づいた特許技術によるコンサルティングサービスを行っている。



**森川紀代**  
森川法律事務所 弁護士

経営学部卒。(株)東陽テクニカ監査役、日本損害保険協会紛争解決委員、日弁連知的財産センター幹事。

古典的な観念がない方に関しては育つ事も可能だと思いますが(笑)、そこがどうしても抜けない方は相当に難しいと思いますね。

### 社会人のビフォー&アフターは？ 働いて分かった自由と面白さ

**小松** 私は夢があってこの勉強をしているという目標がありますが、寿退社で辞めていく方はいらっしゃいますか。

**森川** 結婚をきっかけに辞める方はそれほど多くないように感じますが、出産をきっかけにお辞めになる方は多いと感じます。子育てをしながら仕事するのは男性以上に大変で、そこまでの気力がなくておっしゃるのも理解はできるころです。

**日比野** 私は2年間働いて寿退社しました。大喜びで一生働かないつもりでした

(笑)。でも、専業主婦のリスクな部分を目の当たりにして気持ちが変わりました。結婚生活がずっと順調という事もないですし、別れる方もご主人を亡くされる方もいらっしゃいます。

**小松** 学生時代と、思っていた仕事に就いた後と、印象の違いはありますか。

**中島** キャリアを積もうとか部長になろうとか、この仕事をどうしてもしたいという気持ちでスタートしたわけではありません。仕事に恵まれて働き始めたら、意外と仕事が面白かったというところだと思います。それで仕事を続けていらっしゃる方も多いと思います。主婦で幸せな家庭生活を営んでいる友達もたくさんいます。ただ、仕事をしてみたら、こんなに面白い事を男性はやっていたのかと(笑)。しかもお金がもらえる。旦那様に「これを買いたいけどいいですか」というよりは、自分で好きなものが買える自由の楽しさというのは、働いてみて分かった事です。

**森川** 「寿退社する」と宣言していた後

輩ですが、40歳を過ぎた今も働いています。子どもを産んでからも復帰しました。社会に入る前と後と、実際に仕事をしてからというのは、考えは変わり得るものだと思います。

**江端** マッキンゼーのコンサルタント時代の出産で、とても9時から5時で帰れる仕事ではありませんでした。母に全面的に助けを借りて、2世帯住宅を建てて子育てを乗り切ったという経緯があります。大学を卒業して就職する時にどうするかを決める話ではなくて、仕事をしていくうちに自分の違う面が出てきたり、仕事の面白さなどで違う事にチャレンジしてみようという気持ちが出てくると思うのです。人はグループ分けされるものではなくて、その人の人生のなかで、すごく一生懸命に仕事をしている時期とちょっと抑えている時期と、ライフステージで出てくると思います。その時にちゃんと対応してくれる社会なり環境なり企業の場合があれば、本当は一番いいと思います。個々に対応できる多様な価値観に



### 教育人間科学部2年・小松玲葉さんから OGへ、「教えて先輩！」

自分の未来を作るのは今の自分。  
社会で夢を実現するために、いまここで何を？

**Q.** 「一億総活躍社会」といわれる今、女性の活躍への期待が変わったと感じる部分はありますか。

**日比野** 若い頃はそれほど期待されていないというのは正直ありました。時を経て会社を作って男も女もない世界なので、今はとても仕事が好き。「苦(くる)楽しい」というか。女性である事のハンディキャップ以上に、女性経営者として社会が注目してくださる。女性である事は決してマイナスではありません。

**Q.** 日本で働くうえで、留学がいい経験になっていると感じた事はありますか。

**江端** 外資のコンサルティング業務は、会議で自分の意見を言えないと「出ていけ！」の世界。自分で課題を設定してロジカルに物事を言わなきゃいけない。海外でベースを積んできたからサバイバルできました。

**中島** ニュアンスを伝えるのは、日本人の非常に高い能力です。海外と日本の両方のコミュニケーションスタイルを使える事は大切だと思います。

**Q.** 学生だった時に「これは良かったからぜひ」と思う事はありますか。

**森川** 学んで無駄な事はない、というのが実感です。経営学や会計学、テストのついでに受けた簿記検定なども、そういう知識が弁護士の今、何でも役立っています。

なっていてほしいな、と思いますね。

### 留学するなら語学とコミュカ そしてサバイバルカ

**小松** 留学するならこれは学んできてほしい、という事を教えてください。

**中島** 一つは語学をしっかり身につける努力をしてほしいと思います。語学力を身につけることができれば、人生や仕事で大きく役立つ場面はたくさんあります。もう一つはコミュニケーションの力です。日本では簡単でも海外ではままたまらない場合があります。それを解決するために様々な人の助けを借りるうちに、コミュニケーション力が自然と身につけていきます。留学でその二つはたいへん良かったなと思っています。海外に行くとポンと放り込まれて逃げ場がありませんので、留学のメリットはそういうところかと思えます。

**日比野** 夫の研究について行ったカナダで、移民が行く語学学校に行きました。いろいろな人がいらっしやるのだと思

て、その後の人生に非常に役立ちました。  
**江端** 多様な価値観というか、異文化に触れる事はすごく大きいです。日本の常識が海外の常識ではなく、日本では分かってもらえる事が、海外では口に出して言わないと全く分かってもらえない。前例で物事が決まる事はなく、自分で切り拓いていかなければいけない。そのサバイバル力というのは、海外に行って初めて学び身につけたと思いますね。

### 原点に帰るなら 目の前の勉強全てに取り組みたい

**小松** 学生時代に「これをやってあげば良かったな」というアドバイスがありましたら。

**森川** どんな授業でもきちんと受けてあげば良かったなって。目の前にある勉強全てに一生懸命に取り組む姿勢は大事だし、おそらく無駄にならないと思います。

**日比野** 心理学の先生が「おまえたちは真面目すぎる。ノートを取っている暇があったら下宿に帰って天井でも見てい

ろ」と。その言葉にえらく感動して、すぐ家に帰って一日天井を見て(笑)。本当に自分を見つめる時間として良かったなと思います。

**中島** 私はもう少し英語を早くやっておけば良かったと思っています。英語の勉強に取り組んだのは24、5歳の時でした。若いうちに語学を身につけておくと、後々役に立つ事は多いと思いますね。

**江端** 一般教養をもっと真面目にやっておけば良かったと(笑)。実験や専門的な分野もやりつつ、一方で教育心理や初等・中等教育法とか土曜まで授業をびっちりとっていた。だからこそ本当は、ひとつひとつをきちんとやっておけば良かったなと思っています。哲学とか歴史とか文学とか、自分に欠けていると感じる部分があるので、学生で時間がある時にもう少しそういうところに時間をかけていけば良かったな。特に授業だけでも真面目に聴いていけば良かったなと思います。

**森川** 皆さん、「原点に帰れ」ですね(笑)。

## 校友会 今年度の活動予定

- ◆ 第11回横浜国立大学ホームカミングデー 10月29日(土) 常盤祭と同日開催
- ◆ 第3回横浜国立大学アプリコンテスト
- ◆ 留学生・日本人学生と若い社会人との交流会

様々な活動がありますので  
校友会ホームページをご参照ください。  
▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>



## 横浜国立大学校友会ホームページのご案内

横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

## お問い合わせ先：横浜国立大学校友会 事務局

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 本部棟 1F

TEL:045-339-3177 FAX:045-339-3178

営業時間：8:30-17:15(土日・祝日は除く)

e-mail: [koyukai@ynu.ac.jp](mailto:koyukai@ynu.ac.jp)

ホームページ: <http://koyukai.ynu.ac.jp>

個人情報の取扱いについて：横浜国立大学校友会に提出いただいた個人情報につきましては、会員情報管理、会報等お知らせの発送、会員の交流支援、就職支援活動等のイベント開催関連のために利用し、利用目的の範囲内で各同窓会、各学会及び横浜国立大学に提供することがありますが、それ以外の目的では使用しません。

